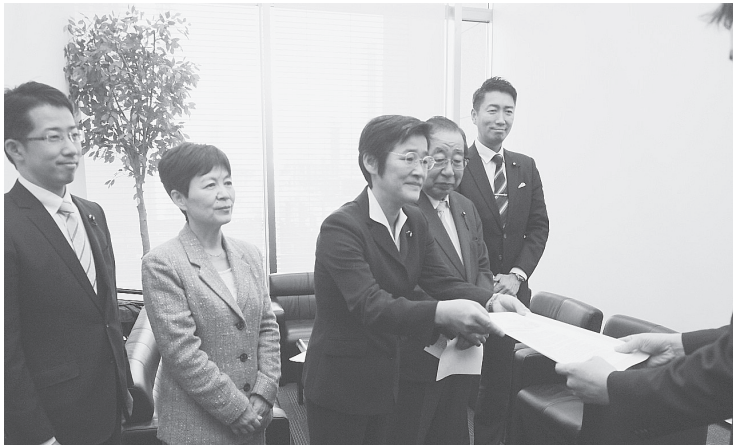


高浜原発の再稼働反対 値上げするな

共産党が関西電力に申し入れ



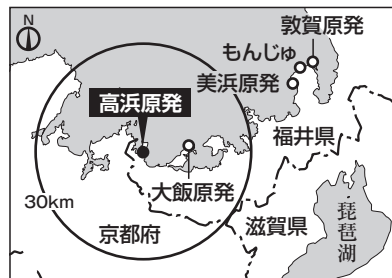
関電に申し入れる倉林明子参院議員(中央)、清水忠史衆院議員(右端)、堀内照文衆院議員(左端)と党滋賀県委(左2人目)、京都府委の代表(7日、関電本店)

総選挙で当選した近畿選出の日本共産党の衆院議員と参院議員らは、関西電力が計画している高浜原発3、4号機(福井県高浜市)の再稼働と電気料金値上げに反対する申し入れに関電に行いました。

高浜原発の30キロ圏には京都府、滋賀県が入りますが、放射能被害から住民を守るまともな避難計画も、命の水源・琵琶湖の汚染対策もありません。甚だしい安全軽視です。

原発依存のツケ回すな

—昨年5月に続く料金値上げ(4月を予定)は10.23%



(家庭用)の大幅なもの。原発再稼働の遅れを理由にしていますが、安全と会社経営を天びんにかけるのは重大な誤りです。関電の原発依存のツケを住民に押し付けるもので、値上げで脅し、再稼働を迫るやり方は許せません。

日本共産党

戦後70年

再び日本を戦争する国にさせません 日本共産党



今年は戦後70年。安倍政権の「海外で戦争する国づくり」への暴走と、これを食い止める国民のたたかいが激突する年。その行方に日本の命運がかかっています。

9条破壊ノ一の共同を

日本が戦後政治の羅針盤としてきた憲法9条の破壊を許していいのかが問われます。安倍政権は、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」具体化の安全保障法制を、通常国会で一気に強行する構え。「戦争する国許すな」の一点で力を合わせましょう。

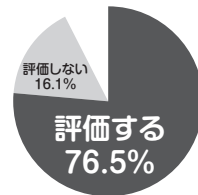
歴史の偽造は許さない

過去の侵略戦争と植民地支配の肯定・美化を許さない — 戦後の世界秩序は、ファシズムと軍国主義による侵略戦争の断罪の上に成り立っています。それを否定するのは、世界でもアジアでも生きる道はありません。

日本の命運かかる2大焦点

皆さんと力あわせ憲法9条を守ります

戦争放棄・戦力不保持の9条



NHK平和戦について世論調査2014同年7月実施から

2000万人のアジアの人びと、310万人の日本人の命を奪った日本の侵略戦争。その痛苦の経験から「二度と戦争しない」と憲法で誓いました。日本共産党は党をつくって93年。反戦をつらぬいた党として憲法を守り、歴史の偽造を許さないために、皆さんと力を合わせます。

近畿民報

2015年1月 No.2(第181号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。